

週日の説教

金 大烈 神父 2011年2月25日(金)

《夫婦 - 神様の結び合わせたもの -》

結婚なさってから30年以上になる方がいらっしゃいますね。そして40年以上になる方、50年以上になる方もいらっしゃいますね。それぞれの皆様、お疲れ様でした。(笑)

今日の福音(マルコ10:1-12)を読んで、面白い思いが浮かびました。それは、2000年よりもっと前から、離婚の問題があったということです。イエス様が「モーセはどのように教えたのか。」と聞くと、聞かれたファリサイ派の人は「モーセは離縁状を書いて離縁することを許しました。」と答えています。夫婦喧嘩とか、夫婦間のいろいろな問題で騒ぎが起こるのは、いつの時代でもあまり変わらないようです。だから、何千年も前でも同じことで騒いだのでしょうか。

とにかく皆様、30年間、40年間、50年間、本当にお疲れ様でした。全然知らない者同志の二人が、ある日、「一体になる」と言われて、同じ空間で一緒に生き、同じ布団で休むようになるのは、そんなに容易なことではないことを、結婚したことの無い立場でも想像できます。

私は、「今の世の中は結婚してもあまりにも簡単に別れてしまう」という話をしようとしているではありません。今日は、皆様各自が、ご自分の奥様、またはご主人を黙想するための時間をとりたいと思っています。そのために皆様に5分くらい時間を差し上げます。たぶん、奥様もご主人も、一言では表現できない相手でしょう。そして、上手に一言で表現できるとしたら、それは素晴らしい夫婦なのでしょう。とにかく、今日はその相手のために祈ってください。そして、結び合わせられたことによって実った子どもたちのためにも、ここで静かに5分くらい祈りましょう。私は結婚をしませんでしたが、母から始め、兄弟、そして兄弟の家族のために5分くらい集中して祈ります。皆様もそういう時間を持ちましょう。

(5分間、黙想)

5分という時間は長く感じられたでしょうか。

本当にきれいに生きているように見える夫婦を見ますと、共通点があります。それは、どちらかが先に「私はこの人に対して最善を尽くさなかった。やってあげなかったことが多すぎる。」という思いになることです。二人同時にはできません。どちらかが先に、です。先にそのような気持ちになった人がまず、「この人に、このすまない心を返したい。」という気持ちになり、相手に近づこうとします。そういう夫婦ならば、絶対に問題はありません。たぶん皆様は、そのように生活なさっていらっしゃいますよね。一番悲しいのは、70歳、80歳を過ぎて離婚をすることです。いつかは復習したいという気持ちを胸に隠したまま一生我慢をして過ごし、年金がある程度たまったら、もう離婚しようとするのです。それは、だまされて相手から離婚を言われる人より、だまして離婚しようとする人のほうが気の毒です。本当に気の毒なことです。

私たちが信者としていつも意識しなければならないことは、『神様が結んでくださったのだから、そこには必ず意味がある』ということです。その意識がなければ、他人より悪くなるでしょう。他人ならば、嫌ならば会わないように、見えないようにすればよいのです。しかし夫婦ならば嫌でも見なければならぬし、そういう気持ちならば地獄のようでしょう。『本気で相手に変わってほしいと思うのなら、まず自分が先に変わる』そういう気持ちで相手を見なければならぬことを意識しましょう。

ありがとうございました。